ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式						
E112E011	近代文学概論 (Introduction of Modern Japanese Literature)						対面						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態					
必修	2	2	教育学部 令和2年度 以降入学生用	前学期	月5	日本語		単独					
担当教員	氏名 藤原 耕作 E-mail fujiwarakosaku@oita-u.ac.jp 内線 7533												
授業の概要	日本近代文学の作家や作品についての基本的な調査や研究の手法を学んでいく。												
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)						1	2	3	4	5	6	7
目標1	日本近代文学作品の基本的な研究手法を学ぶ。												
目標2	課題やレポートによって基本的な研究手法を身につける。												
目標3													
目標4													
目標5													
目標6													
目標7													
目標8													
目標9													
目標10													
各DPへの関連度(計10)							10						
授業の内容													
1	はじめに 今期の予定												
2	書誌												
3	本文												
4	訓読注釈												
5	成立事情												
6	作者												
7	時代背景												
8	文学史的背景												
9	典拠												
10	作品史												
11	文学理論												
12	同時代評												
13	研究史												
14	問題の立て方												
15	まとめ												
ラーニング	A:知識の定着・確認	課題やレポートによって知識の定着・確認をはかる。				工 夫 そ の 他 の							
	B:意見の表現・交換	課題やレポートによって意見の表現をする。											
	C:応用志向	講義後に意見交換の時間をとる。											
	D:知識の活用・創造												
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	取り上げる作品を読み、課題のプリントに疑問・感想・意見などを記入する。(15h) 作品についての基礎的な調査をする。(10h)											
	事後学修	講義を受講し意見交換をした上で、あらためて作品を読み直し、課題のプリントに疑問・感想・意見などを記入する。(20h)											
	想定時間合計	45											
教科書	Moodleで資料を配付する。												
参考書	講義時に適宜指示する。												

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10
	課題	90%										
	レポート	10%										
注意事項												
備考												
リンク												
	URL											